

ペンギンの会 ニュース

No. 25 2010. 4

いつもペンギンの会を支えて下さっている皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

やっと長い冬も終わり、桜の咲く季節になりました。ペンギンも、今年4月初めに花見を企画しています。ここ数年、花見の時はいつも、「来年は見られるのかな」と思っているのですが、今年は高橋啓司さんが参加できなくなってしまいました。けれど、ペンギンのメンバーがいる限り、ペンギンの花見は毎年続けられていくと思います。

私的なことですが、昨年12月初めに、現代書館から『私はマイノリティ あなたは?』という本を出版しました。聞き取りから始めて、3年近い時間を費やしましたが、私が思った以上にちゃんとした本になっていて、奇跡的なことだと、本作りに関わってくれた人に心から感謝しています。内容的には、幼年期から自立を目指すまで、自立後、今思っていること、と欲張った内容になっています。これからこの本を道具として、ここ数年漠然と言ってきたように、これから自立を目指すしていく障害をもつ人たちに、自分が経験してきたことを伝え、自立の後押しをしていきたいと思っています。

ペンギンの会もやっと新しい事務所を見つけることができました。春からは私もペンギンの会も、新たなスタートを迎えられそうです。体はきつくて大変ですが、私なりに、またペンギンらしく、ぼちぼちと1歩ずつ前に歩んでいきたいと思っています。今年はM君よりも若い障害者を入れなくては、という思いで色々考えてイベントをやっていくと思いますので、またご参加ください。皆さんもそれぞれの現場で大変かと思いますが、私たちと同じく、何とか毎日をしのいで生き抜いていってください。

これからもペンギンの会を支え続けて、共に歩いていってください。これからもよろしく願います。

イチョンミ
李清美



★2009年4月25日

高橋啓司さんが逝去されました。

※昨年発行したペンギンニュース24号で、

啓司さんが、小脳こうそくのため倒れられ、(昨年4月3日に)

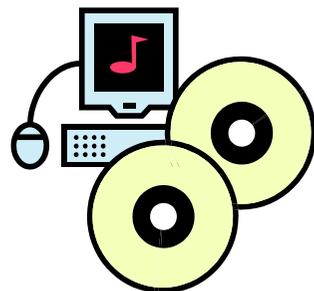
病院での手術が成功したのち、闘病中であることをお伝えしていました。

手術後から3週間、啓司さんは意識不明の状態だったのですが、

4月25日の深夜、23時42分、入院先の京都第二赤十字病院で、

帰らぬ人となりました。享年58歳でした。

大変残念です。謹んでご冥福をお祈りいたします。



啓司さんが最後に参加された、

ペンギンの会の行事から

2008年12月23日

の『野染めデモ』のナップ

撮影・篠原文浩さん

☆ここで、事業所ペンギンの新しいスタッフ・田原孝平さんから自己紹介

みなさん、はじめまして。4月から介護人派遣事業所ペンギンの新しいスタッフとして働くことになった、田原孝平です。昨年の4月からアルバイトとしてすでにペンギンの仕事にある程度携わっていましたが、晴れて大学を卒業することができ、今年度から専従職員になることとなりました。どうぞよろしくお願ひします。

私のペンギンの会とのつながりは、ペンギンのメンバーである李清美さんと高橋啓司さんの介護に入るようになったことからでした。清美さんの介護には、当時介護に入っていた先輩から誘われてなんとなくついていってそのまま入ることになり、啓司さんとは、当時私が住んでいた大学の寮での交流会で直接誘われてなんとなく入るようになった...。という感じで、何も深いことは考えずに二人の介護に関わるようになりました。たいして他にやることも無いので介護を続けてい

るうちに、なんとなく5年が過ぎ、色々な必要な作業にも慣れて、介護者としてそれなりのことはできるようになりました。

そこで、清美さんが「ペンギンで働かないか？」と誘ってくれたのが去年の冬の冬くらいのことでした。周りの大学の友人を見ていると、何十社もの企業の面接を受けてもなかなか就職先が見つからなかったり、見つかっても結局なんだかよく名前も聞いたことも無いようなわけのわからんヴェンチャー企業にしか就職できなかったり、仕事を始めたら忙しすぎてたいした休みも無かったりと、普通に就職して仕事することには夢も希望もなさそうだったし、かといって大学に残って研究をするにも学費等のお金のことが常に付きまどってきて面倒だし、なによりあの閉鎖感にちょっと飽き飽きしていました。だから、私としては今まで関係をつくってきた人たちの介護をやることで飯が食っていけることは、なにより気楽で良かったのです。周りの人からは「本当にペンギンでええんか？」なんてたまに（小山さんからはしばしば）聞かれています、私にとってはそういうことなのです。三宅さん、小山さん、啓司さん、清美さん、湯口さん、という一癖も二癖も三癖も四癖も...ある人たちと関わる方がよっぽどおもしろい！（?）。

しかし、残念ながら去年私がアルバイトとしてやとってもらった矢先に啓司さんが亡くなりました。そして、お家で啓司さんが意識を失われ救急車を呼んだときの介護は私でした。といっても、それ以前から啓司さんは突然気を失ったり、めまいをおこしたりと体調に異変があったので、万が一のときはという覚悟で介護に臨んでいたのもそれほど私自身も取り乱さずに適切な対応ができたと思っています。介護者みんなでのその後の対応（病院への見舞いと病状確認とか啓司さん復帰後の介護の算段をたてることとか）も十分だったと思います。もちろん、介護者としてはもっと早く病院で検査を受けてもらうように強く仕向けていればとか（介護者は何度も病院に行くように言っていました、啓司さんが極度の病院嫌いということで最後まで実現されませんでした）、私としては救急車をもう少し早く呼んどけばとか、様々な思いは尽きないことでしょう。しかし、あくまで啓司さんが生活の主体となりながら、その中で発生する要求に忠実に応えていくという介護を介護者はやりきったと思います。ただし、そのように思うことで多少の心残りも割り切ろうという意図も私の中にはあったことでしょう。

先日湯口さんの介護者会議に三宅さんも顔を出していて、こういうことを言っていました。「今の介護者はよくやってくれてるよ。ただ、障害者の体調がちよっとまずいかなあと思ったときには、主体がどうこうとかあんまり考えなくていいから、介護者は無理にでも病院連れて行ったほうがいい。そうすれば高橋（公子）さんも啓司ももうちょっとなんかあったかもしれないなあ」。健全者の介護者だけでは「障害者の主体が第一義」という原則があるから、なかなかこういうことは思い

つかないというより、^{おも}思いついても^{じっこう うつ}実行に移すことが^{おも}しにくいと思います。しかし、^{じっさい}実際に^{しょうがいとう}障害当
^{じしゃ}事者からこのように^いことを^{むり}言われた^{びょういん}ことで、^つやっぱり無理にでも^い病院に連れて行ってもよかったですな
^{おも}あとも思うようになりました。^{じぶん}自分の「^{たしょう}多少の^{こころのこ}心残り」を^{にんしき}はつきり認識した^{ことば}というか。この言葉の
^{こんご}おかげで^{かいご}今後の^{すこ}介護は^{らく}また少し楽にやっています。

^{けいじ}啓司さんが^な亡くなられた^{かな}悲しみに^{ひま}くれる暇も^な無く、^ごペンギンは^{あか}その後も^{さくそう}明るく、うるさく、^{さくそう}錯綜し
^{つづ}続けています。^{わたし}私も^{すこ}少しづつ^{なか}そんなペンギン^{いばしょ}の中での^た居場所^{いち}というか^{かたち}立ち位置^{かたち}みたいなものを^{かたち}形
^{づく}作って^もいこうと^{さく}模索^{いた}している^{おお}ところ^{おも}です。^{こんご}まだまだ^{ねが}至らぬ^{ねが}ところ^{ねが}も多い^{ねが}と思います^{ねが}が、^{ねが}みなさん^{ねが}今後
^{ねが}ともどうぞ^{ねが}よろしく^{ねが}お願いします。



^{ねん}09年^{がつ}8月^か8日

^{たかはしけいじ}『高橋啓司さんを^{しの}偲ばない^{かい}会』から

^{けいじ}啓司さんの^{しゃしん}写真の^{よこ}横で^{はな}話す

^{たわら}田原さん。

◎『ペンギンの会』2009年度の行事・できごと

☆4月21日

高橋啓司介護者募集イベント

映画『こんちくしょう』上映会

会場：京都大学文学部新館第1講義室

※この当時、啓司さんは闘病中で、ご自身の参加は不可能でしたが、開催しました。

☆4月25日

高橋啓司さん、永眠



☆8月8日

『高橋啓司さんを偲ばない会』

会場：京都教育文化センター

※このイベントの表題ですが、啓司さんは生前、ペンギンのメンバーに宛てて、「しのぶ会などは絶対に行わないでください」という内容のご遺言を残しておられました。

この意を受けた上で、メンバーや介護者の間に、

「(と言って)何もしないのは無しだろう」

という意見が多数を占め、上記の表題の上で、追悼企画を行う運びとなりました。

たかはしけいじ
『高橋啓司さんを偲ばない会』
ぜんたいしやしん
全体写真



☆ 9月17日

ペンギンレクリエーション（日帰り）
琵琶湖・大津方面



☆ 11月3日

第17回 東九条マダンに出店
会場：陶化中学校

☆ 12月10日

李清美さん 自著

『私はマイノリティ あなたは？ —難病をもつ「在日」自立「障害」者』
を現代書館より出版

☆ 各中学校での人権学習で講演（①、②ともに湯口 真）

① 12月9日

神川中学校 1年生人権学習

内容：「車イス障害者の“リアル”」

会場：神川中学校 武道場

② 2010年1月28日

伏見中学校 1年生人権学習

内容：「伏見区に住む障害者が伏見中でしか話せない話」

会場：伏見中学校 体育館

☆ 12月19日

ペンギン忘年会

ホテル京阪 レストラン オーク

☆ 2010年4月6日

ペンギン花見

京都市植物園



◎2009年4月～2010年3月まで、ペンギンの会に、
会費・カンパをいただいた皆様

(敬称略・順不同)

☆月会費

三宅光男 小山 弘 李清美 湯口 真

しょうけい まん せんえん
小計4万2千円

☆年会費

金満里 河内啓介 蒔田直子

しょうけい まん せんえん
小計1万8千円

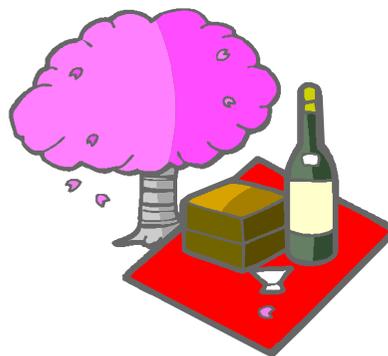
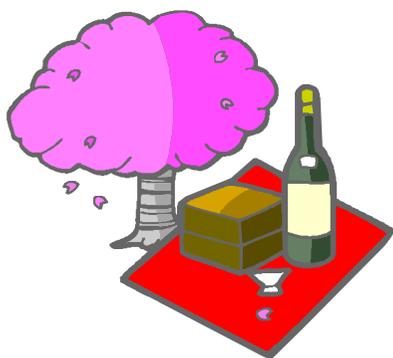
☆カンパ

寺田淳子 濱頭直子 小栗栖直樹 陳太一 矢野恵子 佐藤京子
皆川夏樹 北角和恵 三雲久子 澤田隆司 馬庭京子 河村史子
稲谷 隆・関川直子 平田 義 金光敏 高橋賀世子

しょうけい まん せんえん
小計9万5千円

そうごうけい まん せんえん
総合計15万5千円

以上の、会費・カンパをいただいた皆様、
そしてその他ご支援をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。



☆ペンギン事務所 移転のお知らせ

このたび、

『京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会』（きょうだい会）の
梅田嘉一さんのご尽力で、良い物件を見つけることができ、
4月からペンギンの事務所を伏見区に移転させることになりました。
梅田さん、本当にありがとうございました。



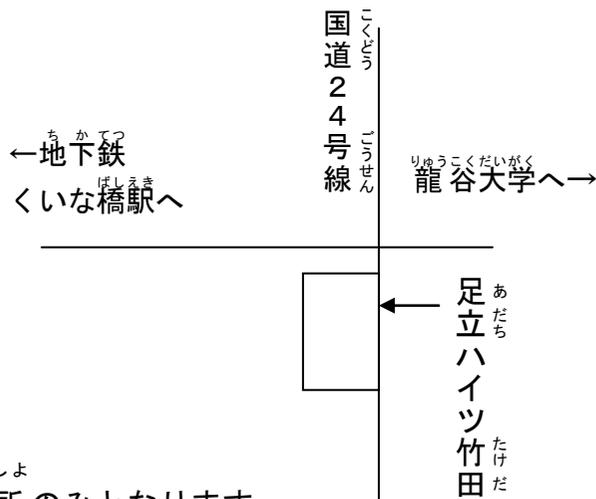
☆新住所

〒612-8411

京都市伏見区竹田久保町62番地

足立ハイツ竹田1F 132号室

（地下鉄烏丸線 くいな橋駅 徒歩4分）



※この号の時点で、お知らせできる連絡先は住所のみとなります。

正式なお知らせは、後日改めましてお伝えいたします。

※なお、旧事務所は、5月いっぱいまで契約しています。

電話番号も当面は変わりません。

皆様、よろしくお願ひいたします。

自立障害者グループ ペンギンの会
〒600-8025
京都市下京区河原町通り松原上ル清水町454
林ビル410号
（四条河原町南へ三つめ信号東側のビル）
でんわ：075-351-8789（fax共）
メール：pengin1995-2003@h7.dion.ne.jp
郵便振替：01050-1-26459
ペンギンの会